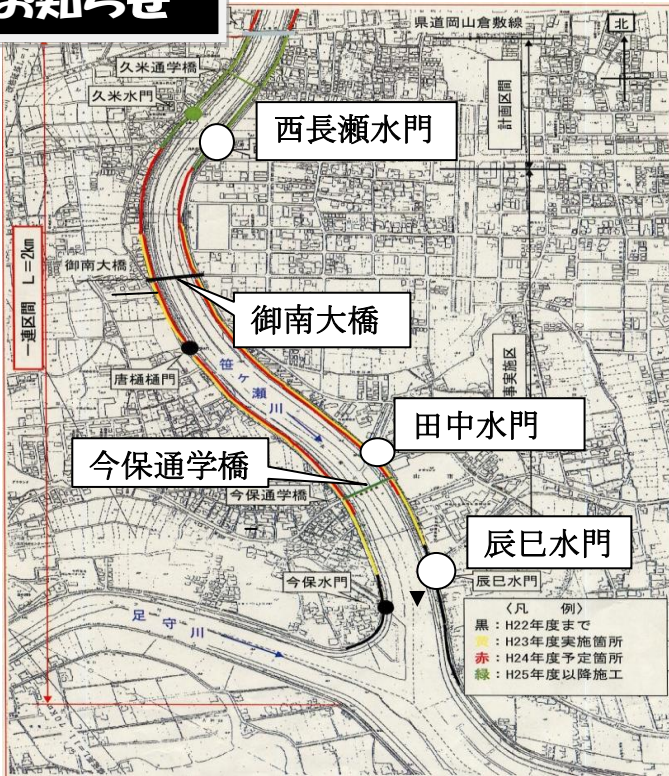


お知らせ



平成 24 年度笹ヶ瀬川河川工事計画

- ① 辰巳水門～今保通学橋
工事完了予定 H24 年 6 月末
- ② 田中水門～御南大橋北
工事完了予定 H24 年 8 月末
- ③ 御南大橋北～西長瀬水門
工事完了予定 H25 年 3 月末

上記工事が完了すれば、昨年 9 月の大雨による笹ヶ瀬川増水氾濫の危険は、ほぼ解消される事とされます。

尚工事期間中は、この区間の通行に注意しましょう。

初めての愛育委員

自己の心身共の健康管理を考えているときでした。私自身も男の子 2 人を育てましたが、願いと程遠い結果となっております。罪滅ぼしのつもりでお受けしました。

さて、先日、御南西公民館で「赤ちゃんすこやか相談」が行われ、体重測定を担当いたしました。どの赤ちゃんも とても可愛くて又お母さん達も優しい素敵なお方たちでした。2 時間があっという間に過ぎ、幸せな時を過ごさせていただきました。赤ちゃんの健康はもちろん幸せを心から願っています。次回も楽しみです。

(4 組 卯善 綾子 70 歳)

雑記帳

岡山市出身のお笑い芸人の母親が、生活保護を受けていたことが判明し大きな話題になっている。5 千万円の所得がありながら、親の面倒は国にさせるという行為だ。メディアで活躍しているだけに、一般視聴者の関心は高い。

彼は涙ながらに「役所と相談の上で、間違っていると思ってないが、自主的に返還する」というが、この制度はそんなにいい加減なのか。違法でないものの返還がどうして受けられるのか訳が分からない。

近年、親が子を虐待したり、子が親を殺したりする事件が毎日のように起きている。家族の結びつきが弱体化しているのは明らかだが、この事件もその延長線なのだろう。

戦後の貧しい時代、子どもは最後まで親の面倒を見続けるのが当たり前だった。いわゆる「親孝行」ということが言われていたのだが、最近めっきり聞くことがない。

現行の公的年金制度なども同じことが言えるのではないのか。ある人が「自分の子どもではなく他人の子どもに考えを要求するという中国文化さえも思いつかなかった最後の権威主義が生まれた」と言い放ったが、言い得て妙である。

(独り言)